

JFW INTERNATIONAL FASHION FAIR

JFW INTERNATIONAL FASHION FAIR

- 会期：2012年7月18日(水)～20日(金)
- 会場：東京ビックサイト西館1,2&3,4ホール
- 主催：織研新聞社・SENKEN

第26回JFW・IFFは、2000年に織研新聞社が新しいファッションの展示会が誕生「モードとビジネスの出会いの場」として毎年1月と7月に開催。毎回規模拡大と内容充実のファッション・ビジネスの展示・商談会である。

2008年7月展から、「IFF展」の冠として「JFW」推進機構のアパレル関連事業として、国内最大規模のファッション・トレードショーへと拡大、まさしく国際的な展示会に拡大、ファッション業界に貢献して来ています。

出展者は、大手アパレル、ファッションアクセサリー企業から個人デザイナーまで幅広い出展者。出品品目はアパレル全般&ファッション・アクセサリー、個性豊かな雑貨類。生活者・消費者の多様化時代を反映した、小売マーケットの変化、売り方の変化等に伴い、異業種商品との組み合わせ、コラボ企画が多く見られます。

もはやファッションは業界の垣根を越えて、企業の主張を前面に打ち出す専門化ビジネスとトータルなファッション・ブランドビジネスがトレンドとして注目されています。

今回の注目イベント企画展示&同時開催の(AFF)主催者発表：入場者数25,030人

第26回の開催は、国内外から750社が参加、アパレル、雑貨を軸に多彩な企業が出展。中小企業基盤整備機構による「ニッポン・モノ・イチ」に22社が参加し日本各地のこだわり商品を披露。

中小気ふ企業庁が東日本震災の被災企業を支援する「にっぽん元気マーケット」も発出展

今回は特に商品カテゴリー別展示のゾーニングが明確化され、非常に見易い会場構成であった。3つのテーマゾーンも毎回充実、会場1階：アトリウムはファッションを切り口にしたトラベルスタイルを提案する「トラベルゾーン」が新設、4階の「ブライダルスタイル」では、ウェディングスタイルにとどまらず、マタニティーやベビーグッズとトータルに構成。



*詳しいレポートはTDAサイトの「Event&Topics」に掲載していますのでそちらをご覧ください。

「ドッグ・ファッションゾーン」は前回よりも出展社が増えてテーマゾーンのパワーアップを感じる。

JFW/IFF展は国際色が年々拡大(16ヵ国)が出展。欧米からのブランド出展・・・インポートに新しい価値、中国・アセアン各国から多く出展、特に今回はインドから(3団体109社)過去最大の出展に注目・・・インド単独でファッションショーを開催

同時開催で注目を集めた [Asia Fashion Federation] Japan-Tokyo Conference

第9回アジアファッション連合会 日本・東京大会

2003年に発足したアジアファッション連合会は、日本・中国・韓国・シンガポール・タイ・ベトナム6ヵ国のファッション関連団体。組織、生活文化やアジアファッション産業の相互理解、マーケット参入への相互協力、アジアファッションの世界発信を目的に、広域での活動を展開している。

・A I F Fファッションショー：

「アジアから世界へ」をテーマにアジアクリエイションの魅力を存分に紹介する6ヵ国(6人)のデザイナーによるファッションショーがオープニングセレモニーの後開催(7月18日のみ)、後にFAAコレクションコーナーにて作品展示。

・AFFテキスタイルコーナー：

「Japan Textileの未来」一般社団法人日本テキスタイルデザイン協会の協力展示(3日間展示)

関連して、「JapanTextileの未来」をテーマにした、セミナー(第3部)「ものづくりアジアからの発信」

講師：わたなべひろこ